

光ある喜びを あなたに

vol.001

2022.春

宮田眼科病院広報誌



SINCE 1960

60

MIYATA EYE HOSPITAL



患者さまとスタッフとともに歩んだ60年
地方においても最新、最高の医療を届ける

戦後の発展のなか「開院」

医療法人明和会 理事長
宮田眼科病院 院長

宮田 和典

宮田眼科病院は、昭和35年（1960年）、先代院長の宮田典男が開院しました。日本が戦後の経済発展をしていくなかで、医療も日進月歩の勢いで発展していた時代です。



病院創立者
宮田 典男 名誉理事長

「光ある喜びをあなたに」という 病院理念とともに

当院が目指すのは、患者さまに最新で最高の医療を提供することです。病院理念である「光ある喜びをあなたに」には、その思いが込められています。私は数々の業績を残した先代院長の後を継ぎ、平成11年（1999年）に院長に就任しました。

その後、研究室の設立、輸入角膜移植の導入、近視矯正手術の導入、院内業務のIT化など、患者さまのためにさまざまなことに挑戦してきました。

遠方の患者さまのために 鹿児島宮田眼科を開院

平成16年(2004年)には、「鹿児島宮田眼科」を開院しました。

永年通院して来られた鹿児島方面(離島を含む)の患者さまが高齢となり、無理して来院されているのがとても心配でした。そこで鹿児島にクリニックを出そうということで「鹿児島プロジェクト」を立ち上げました。

本院と同じレベルの医療を提供するために、鹿児島採用のスタッフの教育スケジュールを計画し、各部門の指導者を中心に教育を行いました。

鹿児島のスタッフが慣れるまでは、毎朝6時に都城のスタッフ数名がマイクロバスに乗り、鹿児島へ行きました。軌道に乗るまでは試行錯誤を重ねましたが、今では優秀なスタッフが数多く育ち、現在、都城・鹿児島の各スタッフで力を合わせて患者さまの治療にあたっています。



鹿児島宮田眼科 (高見橋ビル1階・2階)

当院の信念

「患者に基づく医療 (Patient Based Medicine)」

当院の大きな特徴は「治療と研究の両方を行っている」ことです。日々の診療の中で蓄積されていくデータをテーマごとに分析し、治療に役立てています。さらに、全国の大学等より疾患ごとの専門の医師に来院してもらい、共同で治療・研究を行っています。平成8年(1996年)に設置した「研究室・角膜センター」もその活動に貢献しています。



普段の診察風景

本来、私たち医師は「根拠に基づく医療 (Evidence Based Medicine)」を行います。

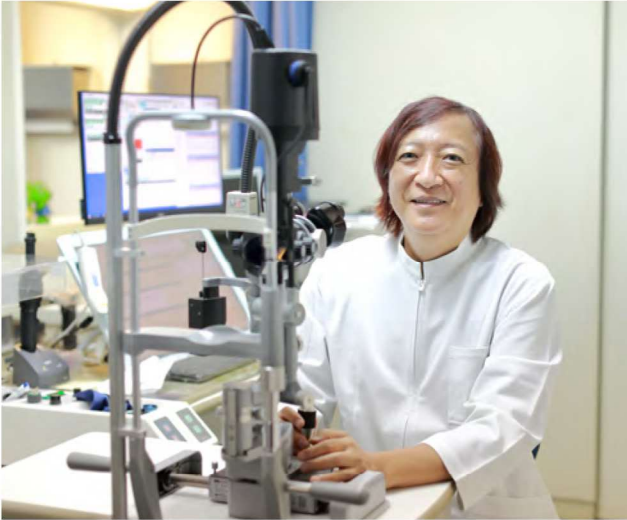
しかし、当院ではさらに踏み込んで、「患者に基づく医療 (Patient Based Medicine)」を行います。目の病気と一口に言っても患者さまによって症状は違います。地域や風土、遺伝子なども関係するためです。個々の患者さまに寄り添った最適な医療を提供していきます。

これからもスタッフ一丸となって「地方においても最新で最高の医療」を行いたいと思います。



医局内の勉強会の様子

宮田眼科病院 スタッフ紹介



宮田 和典

Kazunori Miyata

医療法人明和会 理事長
宮田眼科病院 院長

昭和33年生まれ。宮崎県出身。

ラ・サール高校卒業後、昭和59年久留米大学医学部卒業。同年東京大学医学部眼科入局。助手を経て講師となり、平成6年にカリフォルニア大学サンフランシスコ校に留学。平成9年に医療法人明和会宮田眼科病院副院長に就任。平成11年同院の院長に就任。平成12年宮崎大学臨床教授兼任。平成20年医療法人明和会理事長に就任。

スタッフと過ごした幼少期

宮田眼科病院が開院したのは、私が1歳の時でした。おぼろげに、冬の日、待合室のテレビを火鉢に当たりながら見ていたのを覚えています。ひとりっ子だったこともあり、いつも看護婦さんや炊事場のおばさんたちに面倒を見てもらっていました。時には、患者さまにも遊んでもらいました。今でも大好きな釣りも、父ではなく、検査担当のお兄ちゃんに教わりました。日曜の朝になると、近くの川に出かけていったものでした。両親の姿で覚えているのは、朝から晩までスタッフと懸命に働いているところです。両親から「医者になれ」と言われたことは一度もありません。進学のために都城を離れたのが12歳、再び戻ってきたのは39歳の時です。27年ぶりのことでした。

最先端の治療と研究を行う

私が、東大眼科を辞めて、病院を継ぐことを決めたのは、スタッフや患者さまに対する思いが強かったからです。自分を育ててくれたのは、もちろん両親ですが、病院のスタッフや患者さまがいなければ、医者になり39歳まで自由に仕事をすることはできませんでしたから。大学を辞める直前は、東大眼科の講師として米のカリフォルニア大学で細胞培養の研究をしていました。当院には、研究室がありますが、それは開業医であっても第一線の研究を行い、最高レベルの医療を行うためです。そのため、常に世界を見渡し、有効な新しい治療法を探し

ています。その結果、当院では日本で初めて取り入れた診断方法、治療法も数多くあります。代表的なものとして、アメリカのハーバード大学から輸入している人工角膜があげられます。これにより何度移植してもうまくいかない重症な方の視力の回復に成功することができました。

患者さまのための「最先端の治療と研究を行う民間病院」、それが宮田眼科病院です。その目標に向かって、スタッフ一同と日々努力を続けていくつもりです。

幸せな時間でリフレッシュ

オフタイムには自作料理とお酒を楽しみます。たまには、釣りにも行きます。仲間との交流でエネルギーをもらえる幸せなひと時です。南九州の恵まれた自然の中で、仕事と趣味をバランスよく生活できることはとてもありがたいと思いながら過ごしています。



スタッフと「釣り部」を作り、休日に出かけています。鹿児島島の錦江湾は、よく釣れるのでお気に入りです。

宮田眼科病院 60年の歴史と当時の街並み

1960
昭和35年



蔵原町に木造 2 階建て
宮田眼科開院
病院創立者 宮田 典男 名誉理事長

昭和 35 年



昭和 36 年頃 国道10号線・中央通り

昭和 39 年
東京オリンピック開催

1963
昭和38年



昭和 38 年 6 月
鉄筋 3 階建て新築移転

昭和 38 年



昭和 46 年頃 国道10号線・中央通り

1984
昭和59年



昭和 59 年 7 月
隣接地に鉄筋 5 階建て新築
手術室・入院病棟完成

昭和 59 年



平成 4 年 中央通り・旧寿屋前

令和 3 年
東京オリンピック開催

1996
平成8年



平成 8 年 7 月
外来増築

平成 8 年

2021
令和3年



平成16年5月
鹿児島宮田眼科 開院

平成 16 年



令和 4 年 現在の中央通り

近隣の皆さまに聞きました!

あなたの思う宮田眼科病院

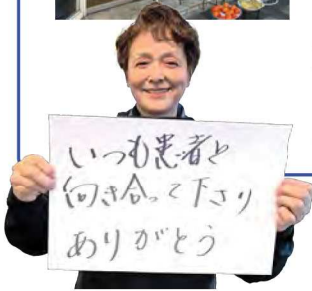
創刊号特集として開院当初からお付き合いのある方々からメッセージをいただきました。



たなかフルーツ

上町にある「たなかフルーツ」さん。新鮮なフルーツの販売だけでなく、厳選されたフルーツをふんだんに使ったパフェやクレープなども楽しめるお店です。

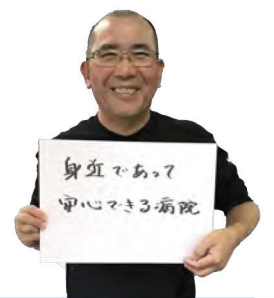
都城市上町8-1
TEL: 0986-22-3377
営業時間: 9:00 ~ 23:00
定休日: 日曜日



田中精肉店

蔵原町にある「田中精肉店」さん。1階でお肉の販売、2階は焼肉・しゃぶしゃぶなどが楽しめるお店です。

都城市蔵原町10-6
TEL: 0986-22-0298
営業時間: 8:00 ~ 18:00
定休日: 日曜日・祝日



中野商店

蔵原町にある日用品のお店「中野商店」さん。年齢を感じさせず、明るくて気さくな人柄がとても素敵です。

都城市蔵原町6-35
TEL: 0986-23-7139
営業時間: 6:30 ~ 17:30
定休日: 日曜日



中華そば専門店 かま源

蔵原町にある「かま源」さん。天然素材にこだわった優しい味わいのスープは絶品です。「とにかく黙ってくつくれえ」の看板が目印のお店です。

都城市蔵原町7-26
TEL: 0986-22-8001
営業時間: 11:00 ~ 15:15
17:00 ~ 20:15
定休日: 水曜日

お知らせ



病院での待ち時間を少しでも快適に過ごしていただけるように、院内にフリーWi-Fiを設置しました。



新型コロナウイルス感染症対策のため、入館時に検温を行っています。また入院や日帰り手術の際には、PCR検査または抗原検査を実施しています。その他、院内の感染対策を徹底しております。



Miyata Eye Hospital

宮田眼科病院

宮崎県都城市蔵原町6街区3号
TEL.0986-22-1441 (代表)

予約 ☎0986-46-1200

鹿児島宮田眼科

鹿児島県鹿児島市西田1丁目5-1 高見橋ビル1F・2F
TEL.099-286-1213 (代表)

予約 ☎099-286-1233



miyata-med.ne.jp